

ジャムの目指すものとそれに向けての行動指針

考え方

まちは多様であってほしい

まちは包摂性があってほしい

スタッフの行動指針

- 一、計測しやすい、わかりやすいような基準で、事例や現場をくくり、安心しないこと
- 一、二分法に落とし込まないこと（正義と悪、成功事例と失敗事例という風に）
- 一、物事を単純に捉えず、物事の奥をみようとかかげること
- 一、味の素を使わないこと
- 一、抗生物質を打って、細菌を殺して、治った！と思わないこと
- 一、木を愛すること（木の腹と背中、天と地をちゃんと見分けられるようにすること）
- 一、ドイツ・ニランダ的なのを愛さないこと（没個性的なワンダーランド、即席の魅力、単一資本の描く物語での安住）
- 一、あらゆる生命を愛せるように（台所に神棚を置くこと）、ひとの、ものの、呼吸や息づかいを感じることに、文化に触れたときか思えないかんじのものを、徹底して見つけて愛し、大切にできる方法を探ること
- 一、一挙手一投足に先人の創意を感じられるようなものを愛して、守り、伝える方法を真剣に探ること
- 一、一器多様なり、人は単一な機能や意味、役割なんかでは規定されず、多様な個性の束であることを知ること
- 一、圧倒されたり、茫然となったり、鳥肌が立ったり、泣いたりするくらい感激する感覚を大切にすること
それくらい何かをしつかりと見つめようとすること（集注すること）
- 一、他人の感覚経験を共有しようと心がけること
- 一、人の表情がいつぱんする瞬間を知り、大切にすること
- 一、薄笑いせず、腹でしっかり笑えるもの（必ず周りに連鎖し、場を支える）を知り、大切にすること
- 一、すべてを本に頼らず、しっかりと野に出、街へ繰り出し、「ライブ」「生に触れること」
- 一、そこで生命を見出し、戻ってくることに、言葉にできなくてもいいので、しっかりと現実をみてくることに
（ぼーっとしていいはずがない）
- 一、絶対不変も絶対流行もない、物事の真は不易流行だと知っていること
- 一、行政、制度（人がつくったシステム）を勝手にあきらめて遠ざけ、安易な批判をしないこと
- 一、人が創ったシステムは必ず人が変えることができるのであるから、必ず制度と対話できる、強さを持つこと
- 一、知性よりも感覚、感性、風情、情緒、空気を大切に営むこと
- 一、人に同調できる強さと優しさを備えること
- 一、お客様にお茶を丁寧についてで、出すこと
- 一、どんなお客様でも大切にすること（猫も犬も小鳥もカタツムリも、隣のおうちの赤ちゃんの泣き声も）
- 一、働いている人みんなを大切にすること
- 一、お掃除をすること
- 一、困ったときに困ったといえるように、みんなで支えること
- 一、知ったふりをしないこと、知らないことを恐れないこと、知らないことを愛せるようになること
- 一、一歩踏み出してみる、振り返ったら必ず誰か支えていてくれる、大丈夫、それが私たちのまちだと知っていること